ビジネスチャンスを掴め！
―会員大交流会を開催―

9月15日、加古川プラザホテルにて、高砂商工会議所、稲美町商工会、播磨町商工会、当所の会員企業が一堂に会した「会員大交流会」が開催されました。

謡曲「高砂」の清聴、主催者紹介、山本会頭による挨拶に続き、12～13名ずつに分かれテーブルを囲んで1分間自己紹介・PRタイムが行われました。事業所の所在地や業種、参加者の年代や性別もすべてランダムのテーブル内で、1分間をめいっぱい使った事業所PRを行いました。

続いて、ステージ上での90秒PRが行われました。例年定員枠を超える希望申込みのある中、抽選によって選ばれた13事業所の方々による発表に、参加者は耳を傾けました。


ステージ上90秒PR


テーブル内での自己紹介

その後、会場内を自由に移動する名刺交換・情報交換会タイムへと移り、近くの方と積極的に名刺交換をしている方や、事前にホームページに掲載していた参加者名簿からマッチングしたい事業所を探される方など、活発に交流を深める様子が見受けられました。異業種の方と知り合えるだけでなく、同業の方との意見交換や情報交換の場として利用していただきました。

参加者からは今後の契約につながりそうな相手がいた、アポ・商談の予定が決まったという声が聞かれました。前回までの参加時にも取引先が見つかった、継続的な関係が続いているという声も聞かれ、新たなビジネスチャンスにつながっていく機会として活用いただいています。

参加者は119名


名刺交換・情報交換会


多数のご参加ありがとうございました！

「いい商品」だけで終わらせない
―経済リーダー塾を開催―

9月14日、㈱ノウハウバンク代表取締役の三科公孝氏を講師に「新商品開発・ヒット商品の創り方&売り込み方」と題した〝地域×承継〟経済リーダー塾「地域と会社の未来をつなぐセミナー」を開催しました。

ヒット商品を生み出すための方程式として「マーケティング×ブランディング×PR」に「理念」を掛け合わせる考え方を示し、それぞれの役割や重要性について解説しました。

続いて、「いい商品」を「売れる商品」に変えるためには、販路やターゲットを明確にするとともに、商品・サービスの強みを明確にし、ブランド力を高めることが重要であると説明がありました。

最後に、地域資源や地域課題を活かしたブランドづくりや異業種連携による新たな価値の創出などについても事例を交えて紹介し、社会とのつながりや顧客にとってのベネフィットを意識して発信することも重要であるとして締めくくりました。

参加者は16名

さらなるステップアップへ
―フォローアップセミナーを開催―

10月7日、ウィル・プランニングの原田朋子氏を講師に新入社員フォローアップセミナーを開催し、9事業所22名が参加しました。

はじめにグループに分かれ、入社後の振り返りを発表しました。続いて、ビジネスパーソンに求められる6つの意識を確認し、自社での具体的な行動例を考えました。さらに、問題解決のための分析方法や定置管理・定量管理、優先順位の「見える化」の手法、「報連相」など、さらなるスキルアップにつながる知識を学びました。最後にクレーム対応を取り上げ、初期対応時の注意点や共感の言葉を学び、グループワークで言い換え表現を話し合いました。

幅広い内容のセミナーとなり、参加者からは「学んだことを今後の業務に活かしたい」「他業種の方の意見が参考になった」といった声が寄せられました。


グループごとに発表

不動産市況と経済動向を学ぶ
―金融・不動産業部会を開催―

9月10日、第241回例会として㈱三井住友銀行　不動産ファイナンス営業部の上田志郎氏と市場営業推進部の川地潤氏を講師に「最新の不動産市況と為替・金利動向について」と題した講演会を開催しました。

不動産市場については、金利上昇や建築費高騰などのリスク要因があるものの、投資需要は堅調であり、引き続き活発な取引が見込まれると説明しました。一方で、物件の種類や立地による選別が進んでおり、今後は市場環境の変化を踏まえた物件価値の見極めがより重要になると述べました。

また、日本経済については、景気は底堅く推移しているものの、不確実な要因も多いと言及しました。今後は、インフレの動向や日米の金融政策、金利・為替相場に加え、国内外の政治・財政動向についても引き続き注視していく必要があると解説しました。

参加者は17名


資料を用いての解説

従業員を守るために
―2部会合同セミナーを開催―

9月10日、サービス業部会・食品商業部会合同で、HRDパートナー　代表の多木泰一氏を講師に「従業員を守るカスハラ対策セミナー～義務化対応と現場で使える実践スキル～」を開催しました。

セミナー当日は、翌月に迫るカスタマーハラスメント対策の義務化を見据え、カスハラの定義や法改正の要点について解説しました。3つの基本原則として「組織で対応する」「安易に謝らない」「従業員の安全確保を最優先する」を挙げ、詳細を説明しました。

続いて、ケーススタディやグループワークを行った後、企業での導入事例を複数紹介し、企業が取り組むべき6つの対策項目を説明しました。

最も重要な点として、カスハラの判断基準を課や担当者ごとに変えるのではなく、社内で基準を統一しマニュアル化することで、対応のブレをなくすことであるとして締めくくりました。

参加者は38名

団体だより
女性会

よりよい企業へ
―研修会を開催―

9月9日、9月度事業として「自社の強みの再発見～SWOT分析で自社を見直し、さらなる飛躍へ～」と題した研修会を開催し、中小企業診断士の松浦敏貴先生をおむかえしました。

SWOT分析を用いて、内部環境である強み・弱みと外部環境である機会・脅威の4つの視点から自社を整理し、経営戦略やマーケティングについてグループワークを行いました。「強み×機会」で未来のヒントを見つけるべく話し合いを進める中で、異業種ならではの違った角度からの見方は大変参考になり、新たな気付きがありました。お互いの企業が協力し合って新しいイベントを計画するなど、楽しく前向きな案が出てまいりました。

今回の講座は、日々の業務に追われている中での前向きで有意義な時間となりました。

参加者は10名
（監事　長谷川　郁子）


新しい視点からの気付き